「市町村のための降雪対応の手引き」の概要

1. これまでの経緯・背景

- 平成30年2月の大雪を踏まえ、降雪による災害が発生した際、被災経験が少ない市町村であっても、迅速かつ的確な降雪への対応を実施できるよう、**平成31年1月に「市町村のための降雪対応の手引き」を策定**
- 本手引きは、災害の発生状況や、関係省庁における取組を踏まえ、内容を見直し充実させるなど、改善を図ることとしており、近年の大規模な車両滞留、長時間の通行止め等の発生状況に対する関係省庁の取組や、防災基本計画の改訂（令和3年5月）を踏まえ、**令和3年11月に改訂**

2. 令和3年11月 主な改訂の内容

本　編

- **令和2年12月～令和3年1月の大雪**の事例を追加
- **大規模な車両滞留や長時間の通行止めの未然防止**として、住民に対する広域迂回、通行ルート見直しに関する協力の呼びかけ、行政機関の対応状況の伝達を追加
- 大規模渋滞等が発生した際の、**立ち往生車両のドライバーに対する一時滞在施設への誘導や水・食料の配布等**を追加
- 新たな支援の追加、既存の支援に関する資料等の更新

予　防　編

- タイムライン（段階的行動計画）参考例を見直し
- **立ち往生車両のドライバー等、滞留者に対する支援体制等の事前確認等**を追記
- 立ち往生車両ドライバー支援に関する現地対策本部設置訓練の事例を追加
- 大雪のメカニズムを更新、雪に関する情報を改善

【参考】「市町村のための降雪対応の手引き」の構成

本　編

過去の降雪による**災害事例**や、それぞれの**フェーズに応じて市町村が実施すべき災害対応**を、時系列で整理し掲載

Ⅰ. はじめに　**※過去の災害事例等**

Ⅱ. 降雪時の対応

1. 降雪の予報が出たとき
- (1)情報の収集・連絡及び防災体制の確立
- (2)災害未然防止活動

2. 降雪のとき
- (1)情報の収集・連絡及び防災体制の確立
- (2)災害発生直前の対策

3. 著しい降雪のとき
- (1)発災直後の情報収集・連絡及び活動体制の確立
- (2)除雪の実施、雪崩災害等の防止及び応急復旧活動
- (3)救助・救急活動及び医療活動
- (4)避難者・帰宅困難者、滞留者対策
- (5)自発的支援の受入

4. 雪が止んだあと

5. 災害復旧・被災者支援
- (1)災害救助法の適用
- (2)災害復旧
- (3)被災者支援
- (4)被災地方公共団体に対する国等の支援

Ⅲ. 参考リンク集

予　防　編

自助・共助の取組の推進などの「**平時の備え**」や、降雪に関する気象情報などの「**基礎知識**」を紹介

Ⅳ. **平時の備え**
1. 雪害に強いまちづくり
2. 自助・共助の取組の推進
3. 雪害の防災体制の整備
   - (1)省内の防災体制の整備
   - (2)業務継続・受援の体制確保
   - (3)災害応急対策等の実施体制確保

Ⅴ. **基礎知識**
1. 大雪のメカニズム
2. 大雪に関する気象情報